

2024年5月15日

株式会社ティン

2024年3月期決算参考資料

1. 連結業績の推移

連結業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	2025年3月期 予想
売上高	5,243	4,865	△7.2%	5,533
売上総利益	2,119	2,179	2.9%	2,442
(売上総利益率)	(40.4%)	(44.8%)	4.4pt	(44.1%)
(販売管理費率)	(28.8%)	(34.1%)	5.2pt	(32.6%)
営業利益	607	521	△14.1%	636
(営業利益率)	(11.6%)	(10.7%)	△0.9pt	(11.5%)
経常利益	660	668	1.2%	679
親会社株主に帰属する 当期純利益	561	468	△16.6%	537

国内海外別売上高 連結

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	2025年3月期 予想
国内売上	1,989	1,818	△8.6%	1,884
海外売上	3,253	3,046	△6.3%	3,648
計	5,243	4,865	△7.2%	5,533

注) 上記海外売上区分に属する主な国：アメリカ、カナダ、中華人民共和国、イギリス、タイ

研究開発費・設備投資

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	2025年3月期 予想
研究開発費	244	250	2.7%	246
設備投資額	374	292	△21.9%	531
減価償却実施額	352	401	14.0%	451

その他

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	2025年3月期 予想
為替レート(1US\$)	135.49円(平均)	144.61円(平均)	—	147.61円(期末)
為替レート(1人民元)	19.75円(平均)	20.14円(平均)	—	20.50円(期末)
従業員数(期末)	393名	368名	△6.4%	—
臨時従業員数(平均)	62名	62名	0.0%	—

【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

お問合せ先
株式会社ティン 管理課(IR担当)
TEL 045(810)5511

2. 連結業績の概要

前年同期比で売上高が7.2%の減収、損益面では営業利益が14.1%の減益、経常利益が1.2%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益が16.6%の減益となりました。詳細は決算短信を合わせてご参照ください。

① 売上高

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的な分類が5類に移行し、経済社会活動がより一層正常化に向かったことや生産活動の回復、またインバウンド需要の増加や賃上げなどが景気を下支えしたことを背景として堅調に推移いたしました。その一方で、為替の円安基調に伴うエネルギー価格や物価などは高止まりの様相を呈しており、また海外では欧州地域における多くの混乱の長期化に加えて中東地域の不安定化もあり国際情勢は緊迫化しており、さらには中国経済の先行き懸念や各国政府による金融引き締め等がわが国経済に与える影響など、ますますの景気減速が懸念される状況で推移しております。

当社の属するカーアフターマーケットにおいて当社グループは、出張を伴う海外営業活動を強化するとともに Web 会議ツールなども併用することで、海外代理店等との緊密な連携を図るとともに、海外におけるさらなる販売強化を目的にオーストラリアとポーランドに販売拠点の設立を決定し、それぞれ営業開始に向けて鋭意準備を進めてまいりました。また、国内では有力販売店を招いた工場見学会や製品説明会、主力代理店向けの製品勉強会を開催し、当社製品の推販力の強化を図る一方、国内および中国ではメディア向けの製品試乗会を開催することで当社製品のアピールにも力を注いでまいりました。なお、一部製品の販売価格の見直しをおこなうなど利益率の確保にも努めましたが、北米においてはこの販売価格の見直しにより第2四半期累計期間での売上が大きく落ち込んだことから、対策として再度販売価格の見直しをおこなったものの、回復に遅れが見られたことで当期の業績に大きな影響を及ぼしました。また新型コロナウイルス感染症の法的な分類が5類に移行したことも遠因し、旅行その他の観光支出の増加などから国内での販売が低調に推移したこともあり、売上高は前年同期と比較して減収となりました。

② 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

損益の面においては、販売価格の見直しや当期における増産傾向が奏功し、売上総利益率が向上した反面、販売管理費の増加もあって営業利益は減益となりました。また、為替影響などから経常利益は増益となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

お問合せ先
株式会社ティン 管理課（IR担当）
TEL 045（810）5511